

前回公演 2025 年 2 月上演『黒蜥蜴〜Burlesque KUROTOKAGE〜』

【あらすじ（結末含む）】

【あらすじ】

クリスマスイブの深夜。都内の会員制バーに、黒衣の怪人・黒蜥蜴が現れる。美と悪と自由を愛し、常識や道徳を嘲笑う黒蜥蜴は、自分に心酔する青年・雨宮潤一を従え、大阪の宝石商・岩瀬庄兵衛の一人娘・早苗を誘拐し、世界有数のダイヤモンド「エジプトの星」を奪う計画を進めていた。

一方、岩瀬のもとには、早苗の誘拐を予告する不気味な手紙が届き続けていた。不安を募らせた岩瀬は、名探偵・明智小五郎に早苗の警護を依頼する。東京のホテルで警戒が敷かれる中、黒蜥蜴は宝石商の顧客・緑川夫人に変装して早苗に近づき、クラブへ連れ出す。そこで黒蜥蜴と明智は互いの正体を探り合いながら、早苗を守れるかどうかをめぐる危険な賭けを交わす。

黒蜥蜴は早苗を自室に誘い込み、潤一とともに彼女をトランクに詰めて連れ去ろうとする。さらに自ら早苗に変装し、岩瀬と明智の目を欺こうとするが、明智はその策略を見抜いていた。部下たちによって早苗は一度救出され、黒蜥蜴の正体も暴かれる。しかし黒蜥蜴は明智の拳銃を奪い、鮮やかに逃走。明智との対決は、互いに相手を強敵として認める、より危険で甘美なゲームへと変わっていく。

それから半年後。早苗は大阪の嚴重なセキュリティのタワーマンションで暮らしていたが、黒蜥蜴は長椅子の中に潜むという奇策で再び彼女を誘拐する。黒蜥蜴は岩瀬に、早苗の命と引き換えに「エジプトの星」を大阪城天守閣へ持参するよう要求。娘を救いたい岩瀬は宝石を差し出し、黒蜥蜴はついに早苗と「エジプトの星」の両方を手に入れる。

だが、大阪城で黒蜥蜴を助けた通行人の男こそ、明智の変装だった。黒蜥蜴はそれに気づかぬまま、自らの船へ逃げ込む。船中で黒蜥蜴は、早苗の部屋に潜んでいた明智の存在を察知し、長椅子ごと海へ沈めさせる。明智を殺したと思った黒蜥蜴は激しく動揺し、勝利のはずの瞬間に、彼への執着と喪失感に涙する。

やがて黒蜥蜴は、早苗と「エジプトの星」を自らの秘密の美術館へ運び込む。そこは宝石、美術品、そして人間の美しさを永遠に保存するための剥製人形が並ぶ、黒蜥蜴の異様な王国だった。黒蜥蜴は早苗を、囚われの美青年・香川の“花嫁”にし、やがて水槽の中で死の舞踏を踊らせようとする。

しかし、明智は生きていた。海に沈められた長椅子の中にいたのは明智ではなく、黒蜥蜴の部下・松吉だった。明智は松吉に変装して黒蜥蜴の美術館へ潜入し、さらに警官たちも剥製人形に扮して内部に入り込んでいた。早苗と香川は救出され、「エジプトの星」も明智の手に戻る。追い詰められた黒蜥蜴は銃で抵抗しようとするが、弾はすでに明智によって抜き取られていた。

逃げる黒蜥蜴を追う明智。その途中、黒蜥蜴を守ろうとした潤一は警官に撃たれ、彼女への想いを抱いたまま息絶える。最後に黒蜥蜴は自室で明智を迎え入れ、二人きりで言葉を交わす。明智は「エジプトの星」を取り返したこと、早苗と香川が無事に保護されたことを告げる。早苗からの伝言は、「冒険をありがとう」。

黒蜥蜴は、自分だけは警察に渡さないでほしいと明智に願い、毒入りのワインを飲み干す。死にゆく黒蜥蜴を明智が抱きとめると、彼女は、初めて会った時からこうなることを望んでいたのかもしれない、と告げる。何を手に入れても満たされなかった黒蜥蜴は、最後に明智の腕の中で安らぎを知り、そのまま息絶える。明智は彼女の額に静かに口づけをする。

完